

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.37

心つなぐ足へのメッセージ

2020年 9月 発行

編集・発行 「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 TEL 03-3992-1824 Fax 03-3992-3309

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会

会長 宮川 晴妃



会員の皆様におきましてはお変わりなくお元気でしょうか。

今年もすでに半年が過ぎました。当協会も定期総会を令和2年5月9日予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の自粛要請があり延期となりました。そのため、やむをえず書面表決を行い総会議案事項の承認をいただきました。お忙しい中ご協力頂き誠にありがとうございました。

理事任期満了の為 浅見ひろみ理事、並木泰江理事が退任いたしました。

今年度は4名の新理事が就任いたしました。引き続き前年度理事同様に宜しくお願い致します。

さて、今年度の活動計画のテーマは「フットケアワーカーに必要な知識と技術を学び直そう」です。お役に立てるように私も学び、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

宇宙の神々の怒りでしょうか、世界中で大きな災害にみまわれ人々は悲しみ苦しみの淵にたたされています。震災や集中豪雨のような自然災害と新型コロナウイルス感染症を比較してはいけませんが、両者とも、いつも通りの活動が突然できなくなるという点では共通しているのではないかとおもいます。

新型コロナウイルス感染症に高齢者が感染すると重篤化しやすい事があきらかになっており、多くの高齢者は外出自粛を余儀なくされています。その一方で自粛による閉じこもり、転倒・骨折リスクの増加、認知機能の低下などが間接的な健康被害として考えられているようです。私たちの生活も変わりつつあります。仕事も開店休業となり、経済的にも大変なときを迎えています。今は耐えるときなのかもしれません。

そんな今、フットケアワーカーの力を発揮するときだと思っています。

「爪が伸びすぎて巻爪になって痛くて動けない、今まで歩くことが出来たのに靴を履くのが辛い、このまま歩けなくなったらどうなるのか」など不安な気持ちで過ごしている困っている人々の声を多く聞きます。

歩行時に接地する大切な足です。人が自分らしく生きるために、最後まで自分の足で歩くこと、体を支えバランスをとる足爪を守るのは 私たちフットケアワーカーの仕事です。

当協会の目的「人が本来 健康で基本的な歩行ができるケアを行う」ことを忘れずに、毎日検温、うがい、手洗いの励行と三蜜を避ける感染拡大防止対策に努めて自分も周囲も守り、今を乗り切っていきましょう。

一日も早く新型コロナウイルス感染症の収束することを祈ります。



ホームページをリニューアルしました

2020年8月31日サーバーの契約更新を機にホームページをリニューアルすることになり準備を進めてきました。そして、ホームページリニューアルにあたり、広報 石井が担当しました。

「爪切り屋.com」のリニューアルしたホームページを見ていただけましたか？

リニューアルにあたり、フットケアを必要としている方、フットケアを受けたい方に伝わりやすいwebづくりを心掛けました。また、会員の方への情報伝達の間として「お知らせ」、会員の方の活動報告・情報交換の間として「ブログ」を設けました。

「爪切り屋.com」はJF協会年会費で運営している会員主体のホームページです。たまに見るのではなく、日々チェックして、新しい情報を知り、皆さんと情報交換してゆきましょう。

紹介したい爪の写真、ケアの様子、ブログに記事を載せたい、ホームページのここがおかしいよ、こんな情報を載せてほしい等々情報やご意見をお待ちしています。

Fax047-488-7794

mail:tumekiriya.com@gmail.com

石井までお願いします。



総会報告

2020年5月9日（土）東京法規出版に於いて、定時総会を行う予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための社会情勢の変化に伴い中止となりました。

「書面表決」を行う為、議案を作成し全会員に郵送させていただきました。

会員総数 123 名・書面表決書提出数 81 名 定款 18 条の規定により①2019 年度活動報告・収支決算報告 ②2020 年度活動計画案・予算案は承認されました。

退任理事・・・浅見ひろみ・並木泰江

就任理事・・・相川辰栄・御子柴博穂・安藤米子・中島七海

留任理事・・・石井裕美子・武蔵加乃子・鈴木まゆ美・鈴木良江（敬称略）

2020 年度 新理事会役員紹介

2018 年から理事会役員をしている石井裕美子です。
昨年までは教育担当でしたが、2020 年から広報担当になりました。
そして、ホームページの担当です。
個人的には 2004 年から「セコメディック病院」と「爪切り屋フットケアしろくま」でフットケアを提供しています。



石井裕美子



武蔵加乃子

2006 年 7 月に 1 級を修了し・・・
細いながらもフットケアを続けてきました。
2016 年からは（一社）「生きがづくり研究所」でフットケアの仕事をしています。
理事会では教育委員を担当しています。また、地区担当は北海道・東北です。
忙しい中での理事会活動ですが、宮川先生と理事の皆さんから知識と経験を聞ける良い機会となっています。
今期は今までにない状況ですありますが、どうぞよろしくお願いたします。



2010 年 7 月に 1 級修了
看護師としてフットケア外来設立、糖尿病看護に関わる。
2018 年 「出張フットケア Skip」 開業
2019 年 フットケアカウンセラー資格取得
足と靴からのアプローチで、フットケアの重要性を
じわりじわりと浸透させていきます。
(公衆衛生学会委員・教育委員)



鈴木まゆ美



中島 七海

2015 年、1 級取得。
2018 年、メディカルフットケアなかしまを開業。
長年、看護師として病院や老人保健施設に勤務し、認知症介護指導者としても、
さまざまな活動に関わり現在も続けています。
フットケアに携わるようになり、地域社会の中で健康な足づくりを通して、歩く楽しさを広げることができればと思っています。
皆様との出会いで、色々な知識や技術と楽しいお話を聞かせて頂ければと思います。
よろしくお願いたします。

2009 年 10 月に 1 級修了しました。受講中は帰宅後深夜勤務をこなしたりとハードな面がありましたが、今では懐かしい思い出です。
定年までは急性期病院で、フットケアを行っていました。現在は、行政の保健師として高齢者の方のフレイル予防や閉じこもり予防の業務に携わっています。高齢者の方のご自宅に訪問した時にお話しする言葉に、「最後まで自分の足で歩きましょうね。」があります。この言葉は JF 協会と共通です。
超微力な相川ですが、ご指導いただきながら頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



相川辰栄

2009年12月に1級修了。

高齢者の通所施設看護師として、利用者のフットケアを継続しています。
2016年より年3回介護予防講座を開催。同時期より訪問フットケア開始。
講座は現在、新型コロナウイルス感染拡大防止策のため延期状態です。
ゆっくりですが、少しずつフットケア活動が広がりました。
今回理事をお受けすることとなり、経験不足で解らないことばかりですが
皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。



御子柴博穂



安藤米子

2014年やっとの思いで1級修了しました。
その後は途切れることなくフットケアを実施しています。
仲間3人と定期的集まり、勉強会・情報交換をしています。
仲間がいることでフットケアが継続できています。
よろしくお願いいたします。



2007年4月に1級修了した後介護保険施設のフットケア専任として継続し、
介護予防講座・施設職員研修講座等々フットケアの啓蒙活動を行っています。
2010年6月出張専門の「フットケアサロンすずぎ」を開業しました。
2018年（H30）から広報担当してきました。
今年は広報活動も変容していますので不安はありますが、皆様のご協力・情報などを
いただきながら進めて参ります。pc操作もおぼつかないですが、それなりに、
頑張りますのでよろしくお願いいたします。



鈴木良江

w i t h コロナの今

リモートワーク、テレワークに在宅勤務から本社の地方移転まで、コロナ禍で働き方も一変していると聞きます。時を同じくして、当協会はホームページをリニューアルすることとなり、協会通信のWeb配信が可能となりました。

現在事務局はお休み中です。理事会役員で集まることも出来ていません。今までのように協会通信を郵送で会員の皆様に届ける作業の継続が難しくなっています。

今後協会通信をWeb配信へと移行せざるを得ない状況です。皆様Webでの閲覧は可能でしょうか？

12月1日（火）の研修会は会場の確保ができず中止です。予定されている研修内容については、Web配信を予定しています。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大により、異例づくしの年となりました。
新体制で集まることはできず、ラインのビデオ電話やメールでのやり取り(+_+)。
まさに新しい生活習慣で作られた協会通信 第37号です。
会員の皆様に満足して頂ける情報をと考えております。
皆様の忌憚なきご意見頂けましたら嬉しいです。

